



ケンコーマヨネーズ株式会社【証券コード:2915】

2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

公開日:2020年11月20日



ケンコーマヨネーズ株式会社



2021年3月期 第2四半期 決算概要について

2021年3月期 第2四半期決算ハイライト(連結)



■2021年3月期 第2四半期決算

連結売上高
33,533百万円(前期比△11.2%)

連結経常利益
623百万円(前期比△60.8%)

・調味料・加工食品事業

- ▶新型コロナウイルスの影響により、各商品群において減収
- ▶販路別では外食向けを中心に大きな影響

・総菜関連事業等

- ▶関東ダイエットクック神奈川工場の売上拡大

■2021年3月期 業績予想

連結売上高
68,000百万円(前期比△8.7%)

連結経常利益
2,040百万円(前期比△32.1%)

コロナ禍で先行きは不透明

→第2四半期以降経済活動に対する改善が徐々に進むことを前提に予想を作成。

2021年3月期 第2四半期業績(連結)



連結損益計算書概要 単位:百万円	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	
	金額	金額	前期比
売上高	37,766	33,533	△11.2%
売上総利益	9,030	7,468	△17.3%
(売上高総利益率)%	23.9%	22.3%	
販売費及び一般管理費	7,539	6,937	△8.0%
営業利益	1,490	530	△64.4%
(売上高営業利益率)%	3.9%	1.6%	
経常利益	1,590	623	△60.8%
(売上高経常利益率)%	4.2%	1.9%	
税金等調整前四半期純利益	1,607	630	△60.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,104	422	△61.8%
(売上高四半期純利益率)%	2.9%	1.3%	
1株当たり四半期純利益	67円03銭	25円62銭	

新型コロナウイルス感染症拡大による影響<各業界の動向>



■各業界の動向(2020年4月~9月)

外食

✓7カ月連続で前年を下回る。ファストフード業態は比較的回復傾向にあるものの、夜間営業中心の居酒屋等は苦戦が続く。

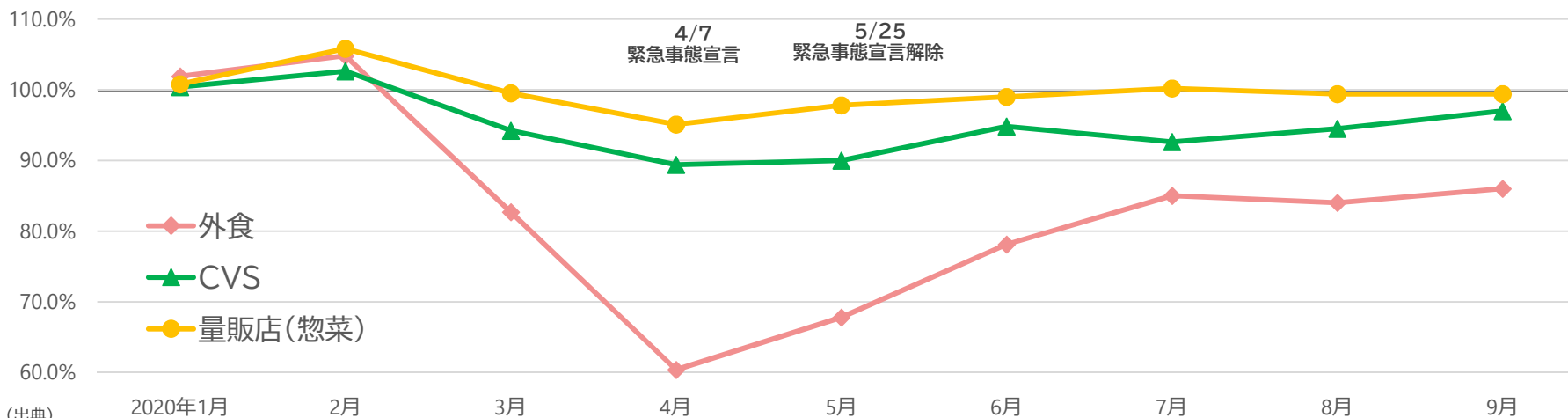
CVS

✓外出自粛やテレワークの普及に伴う来店客数の減少。
 ✓梅雨明けが遅れるなど天候不順の影響も重なる。

量販店

✓業界全体は伸長しているが、惣菜の売上は横ばいの状況。

【参考データ:各業界売上月次動向(前年同月比)】



(出典)

外食:日本フードサービス協会 JF外食産業市場動向調査

量販店(惣菜):スーパーマーケット販売調査(全国スーパーマーケット協会、日本スーパーマーケット協会、オール日本スーパーマーケット協会)

CVS:日本フランチャイズチェーン協会 コンビニ統計データ

©2020 KENKO Mayonnaise Co., Ltd.

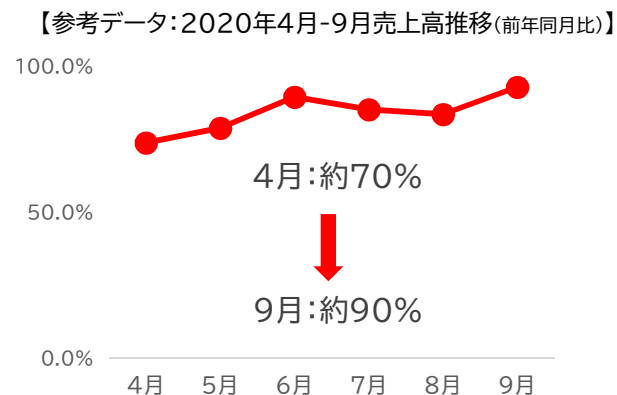
新型コロナウイルス感染症拡大による影響<当社への影響>

●調味料・加工食品事業

各商品群に大きな影響

- 飲食店・商業施設等の休業、営業時間短縮
- ビュッフェ・バイキング形式での食事提供の中止
- 食スタイルの変化(宅配、テイクアウト他)

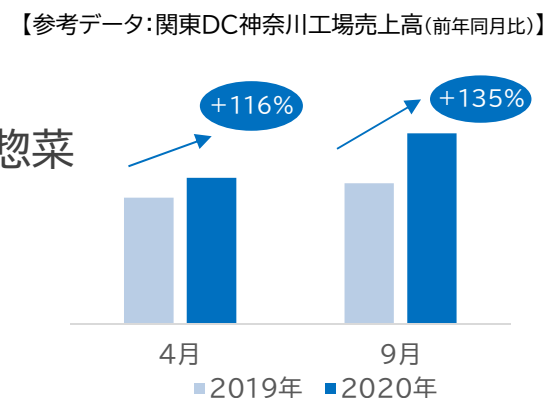
⇒外食向けを中心に大きく影響を受けるも、徐々に回復基調。



●総菜関連事業等

売上は堅調に推移

- 新型コロナウイルス感染症拡大後も、食品スーパー向けフレッシュ惣菜に対する需要は堅調に推移
- 2018年6月稼働の関東ダイエットクック神奈川工場は売上拡大



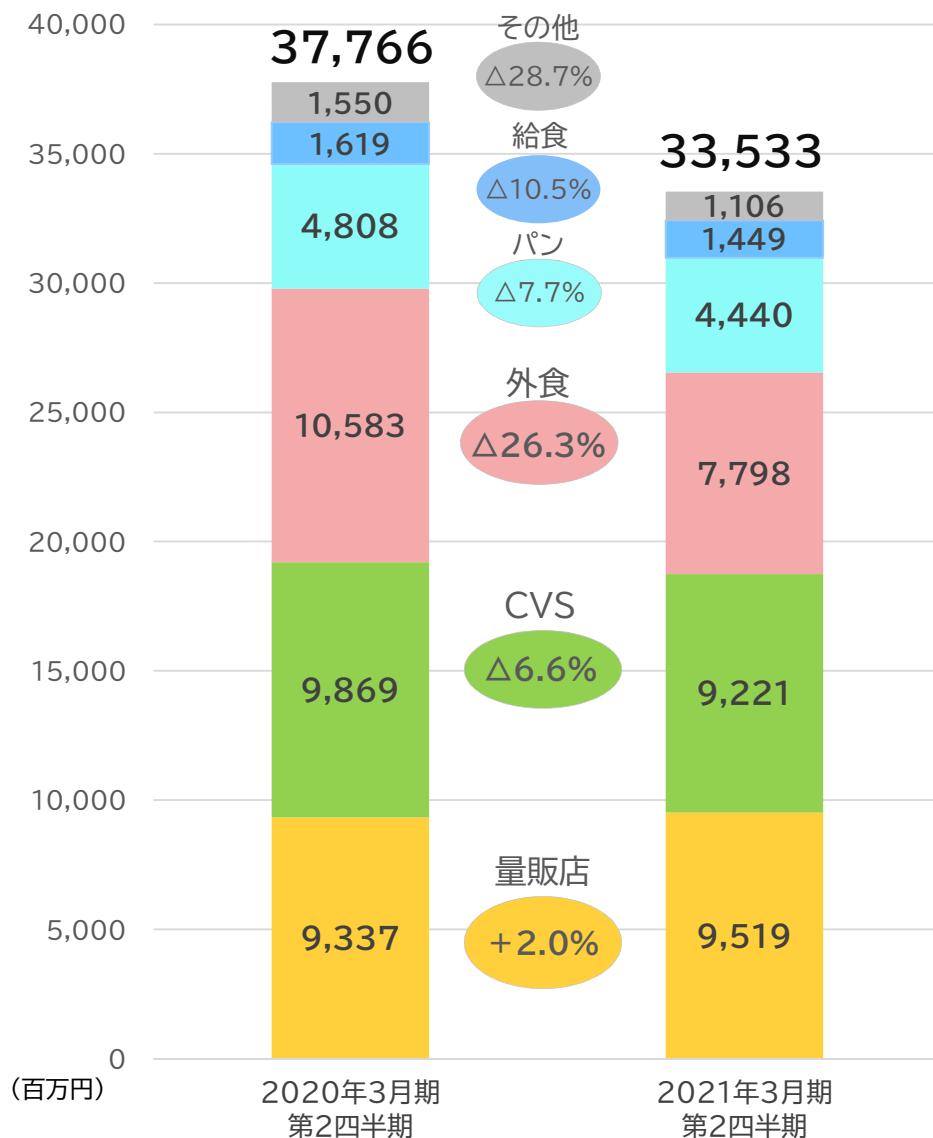
●その他

サラダカフェ、海外事業(持分法適用会社の為利益のみ)共に大きな影響

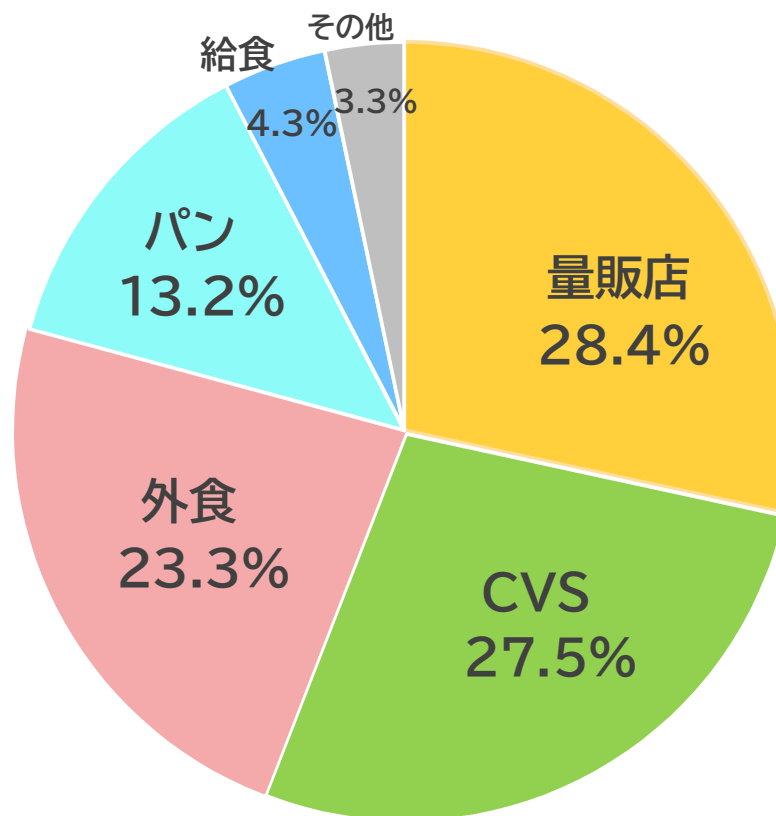
- サラダカフェは入居するテナント(百貨店等)の休業、営業時間の短縮等の影響
- 海外事業(米国、インドネシア)は社会的制限措置による飲食店・商業施設等の営業自粛の影響

分野別売上高(連結)

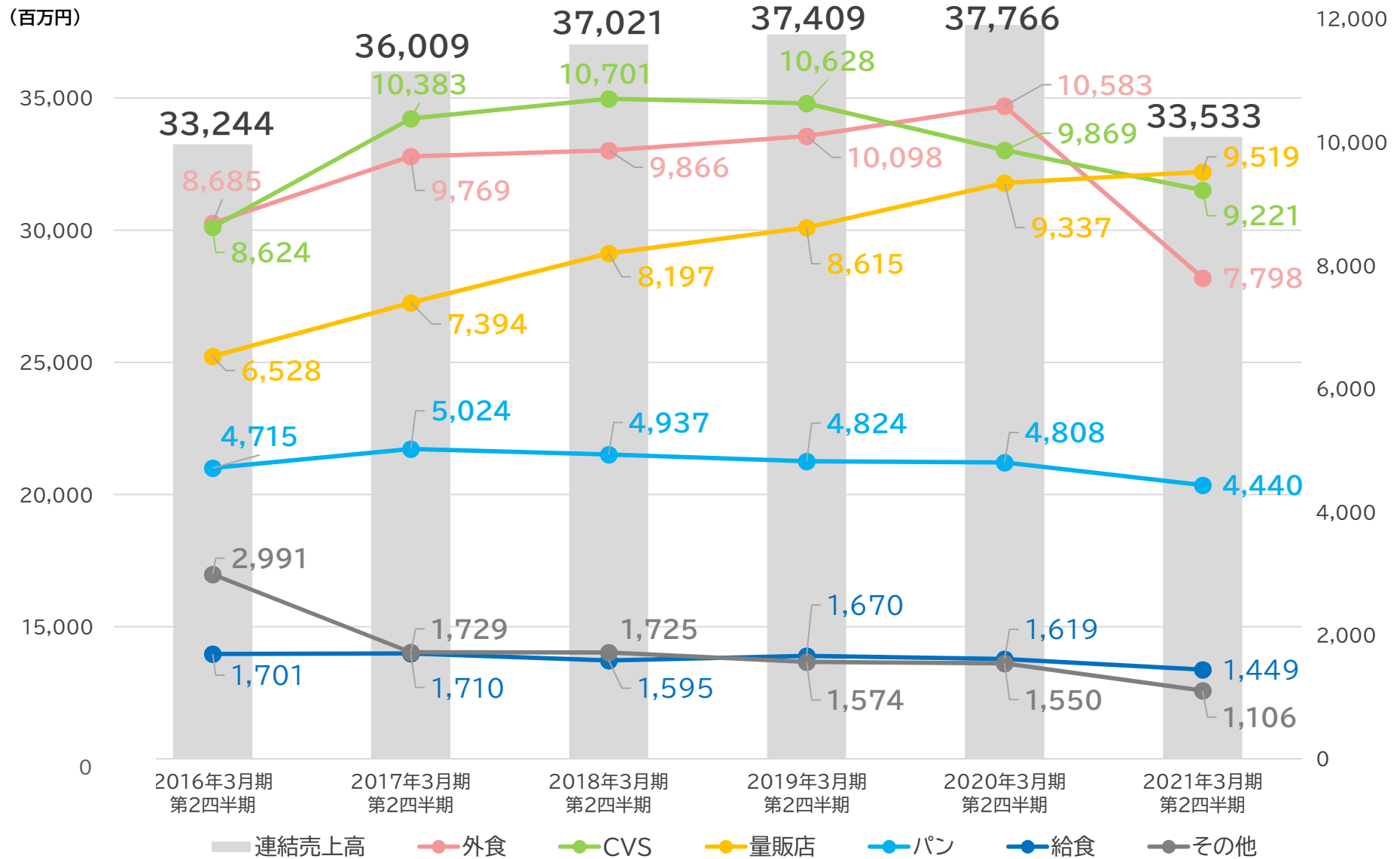
2021年3月期 第2四半期 分野別売上高



2021年3月期 第2四半期 分野別売上高構成比

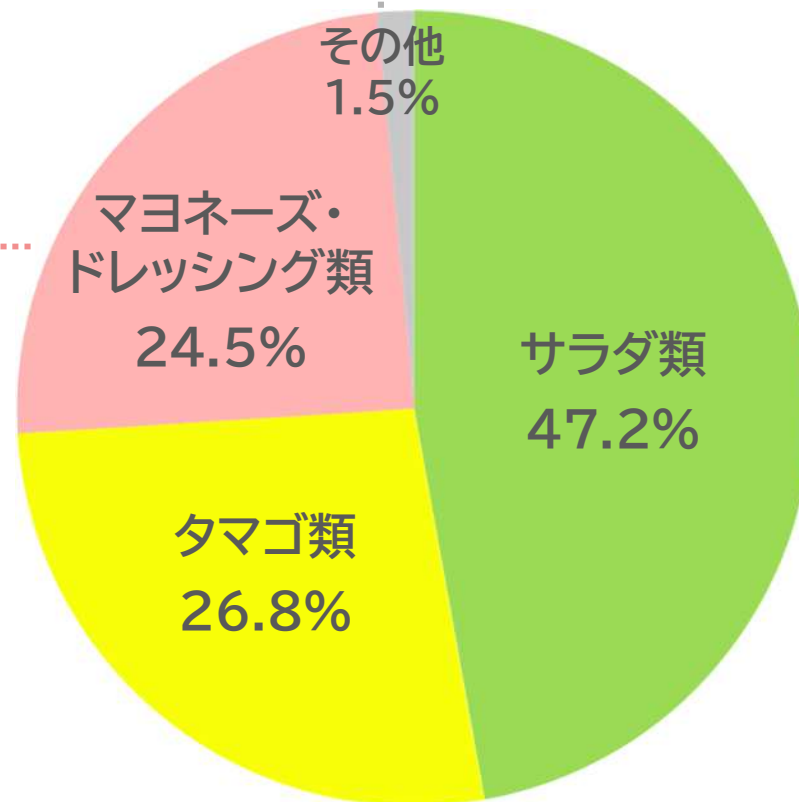
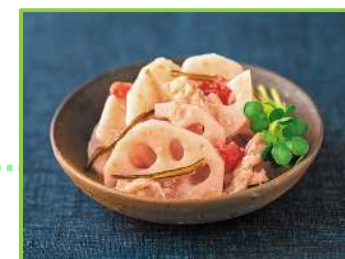


分野別売上高(連結)推移



商材別売上高構成比(連結)

【2021年3月期 第2四半期】

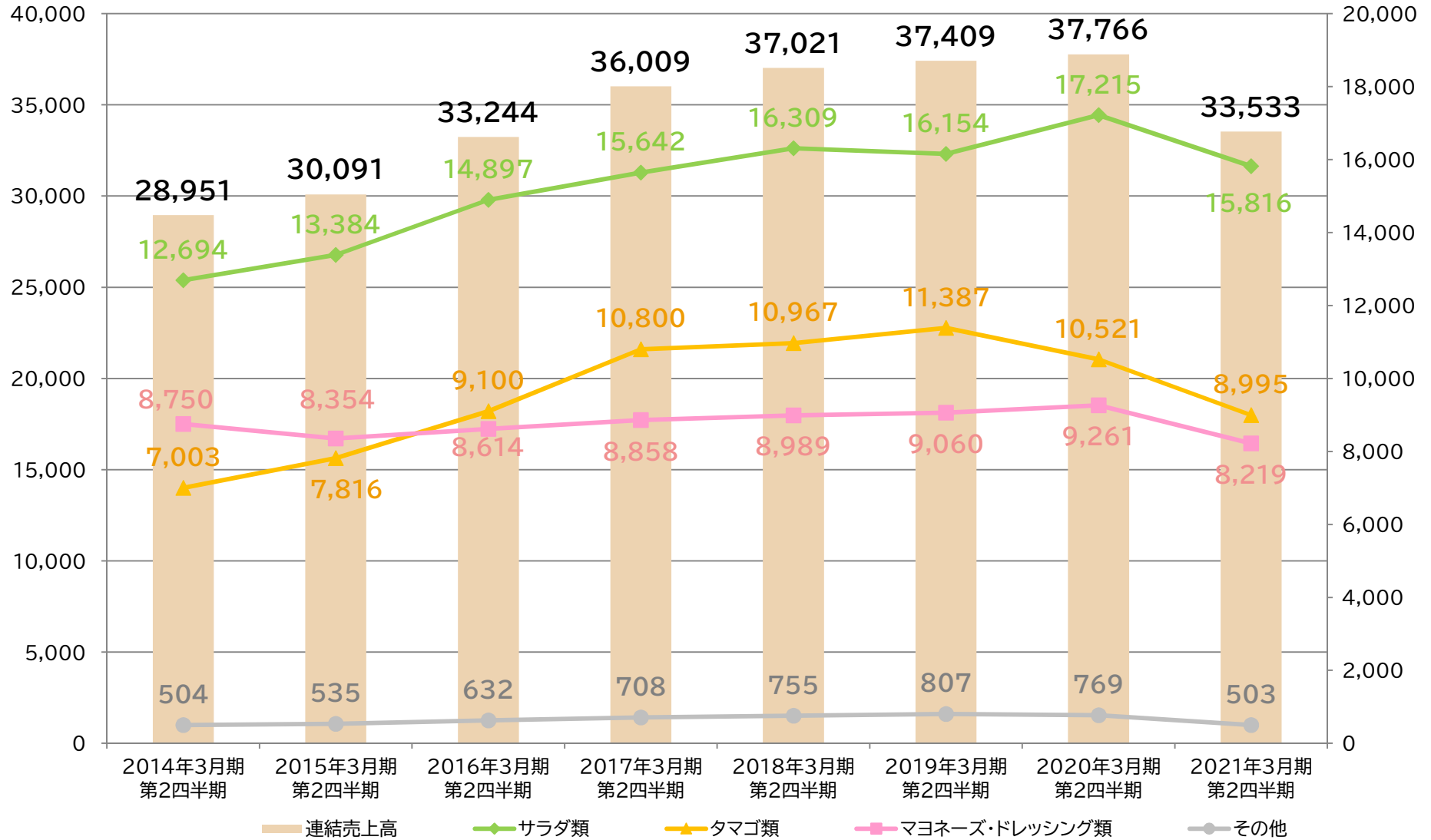


商材別売上高推移(連結)



連結売上高
単位:百万円

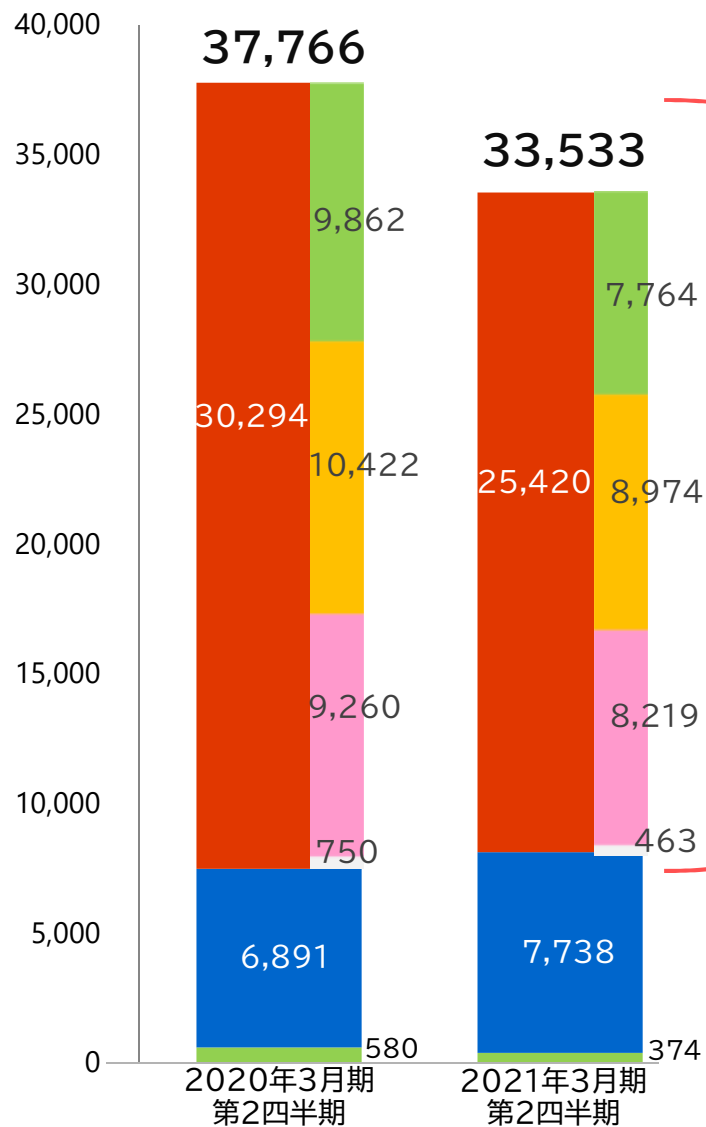
商材別売上高
単位:百万円



事業別売上高概況(連結)



単位:百万円



調味料・加工食品事業

●売上高:△16.1%

- 販売重量:△15.9% 販売単価:△2.3円/kg
- 新型コロナウイルスによる影響で各商品群で減収
- 外食分野向けの販売に大きな影響
- サラダ・総菜類 (売上高△21.3% 販売重量△22.7%)
- タマゴ加工品 (売上高△13.9% 販売重量△15.1%)
- マヨネーズ・ドレッシング類 (売上高△11.2% 販売重量△10.4%)

総菜関連事業等

●売上高: +12.3%

<フレッシュ総菜(日配サラダ、総菜)、グループ内生産受託>

- 2018年に稼働を開始した関東ダイエットクック神奈川工場の売上高が順調に拡大
- 九州ダイエットクックにおける設備投資の効果

その他

●売上高:△35.5%

<ショップ事業(Salad Cafe)および海外事業※> ※海外事業は持分法適用会社のため、売上高には含まれません。

- Salad Cafeは新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、外出自粛等により売上減少

■調味料・加工食品事業 ■総菜関連事業等 ■その他
 (■サラダ・総菜類 ■タマゴ加工品 ■マヨネーズ・ドレッシング類)

©2020 KENKO Mayonnaise Co., Ltd.

事業別売上高・セグメント利益(連結)



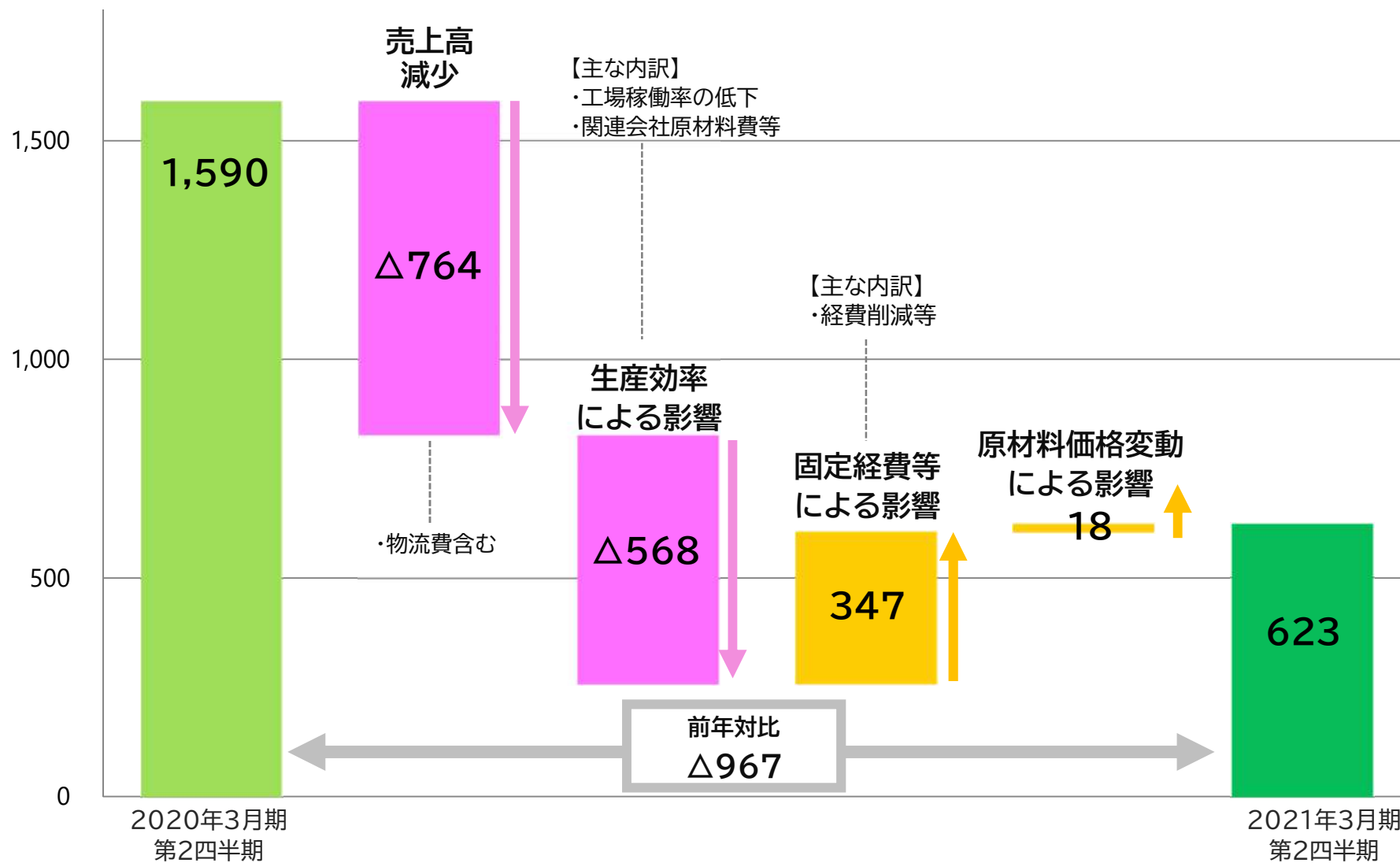
	2020年3月期 第2四半期	2021年3月期 第2四半期	前期比	
			増減	%
売上高	37,766	33,533	△4,233	△11.2%
調味料・加工食品事業	30,294	25,420	△4,874	△16.1%
総菜関連事業等	6,891	7,738	846	12.3%
その他	580	374	△205	△35.5%
セグメント利益	1,590	623	△967	△60.8%
調味料・加工食品事業	1,240	447	△793	△64.0%
総菜関連事業等	261	219	△42	△16.1%
その他	98	4	△94	△95.9%
調整額	△10	△47	△37	—

単位:百万円

経常利益増減要因（連結）



単位：百万円



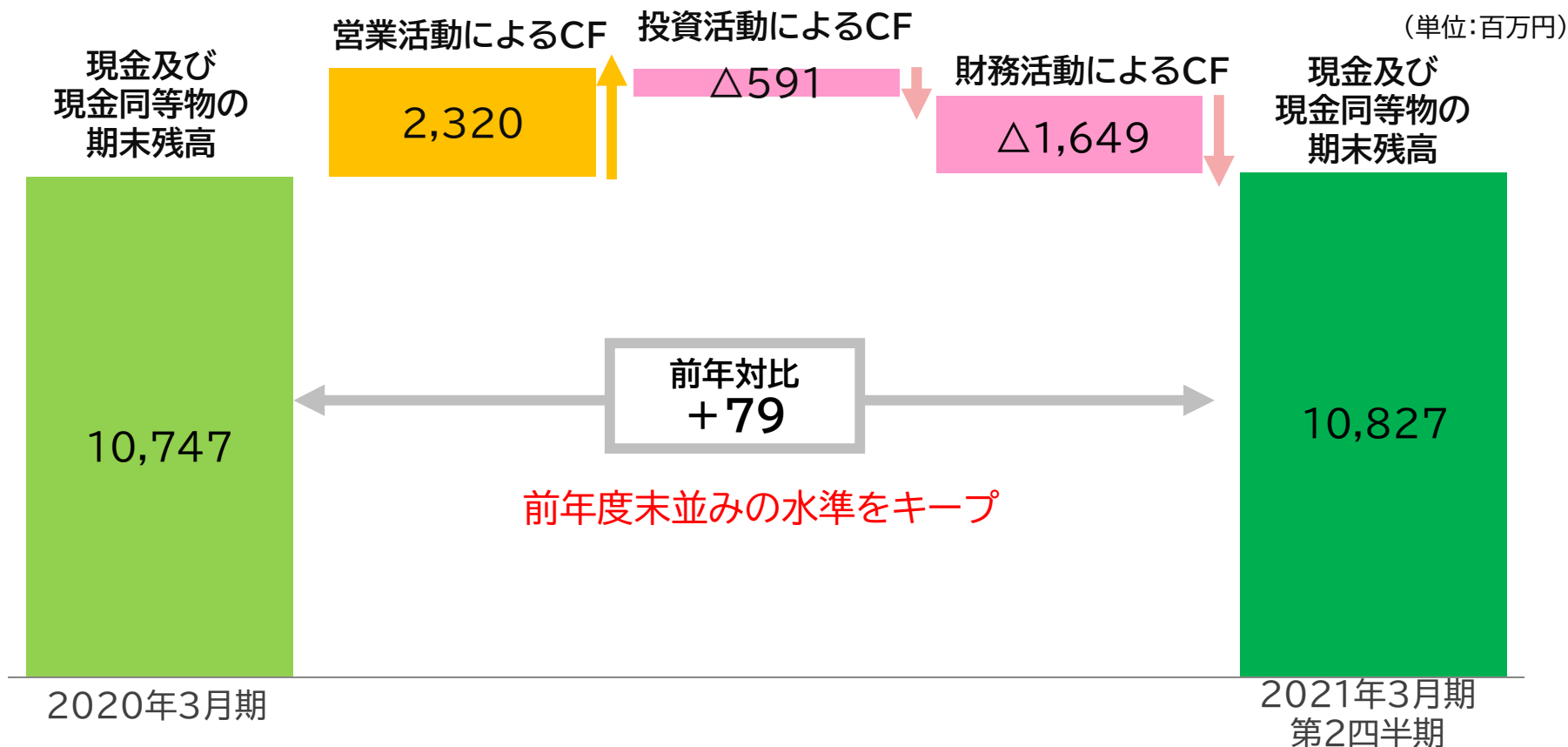
貸借対照表の概要（連結）



		2020年3月期	2021年3月期 第2四半期	増 減	前年度末比
* 長期未払金を含む		単位:百万円			
資 産	流動資産	25,617	24,937	△680	△2.7%
	固定資産	38,149	37,150	△999	△2.6%
資産合計		63,767	62,087	△1,679	△2.6%
負 債	うち有利子負債残高 *	15,633	14,250	△1,382	△8.8%
		29,664	27,619	△2,044	△6.9%
純資産		34,103	34,467	364	1.1%
負債・純資産合計		63,767	62,087	△1,679	△2.6%
1株当たり純資産		2,069円93銭	2,092円07銭	22円14銭	1.1%
自己資本比率		53.5%	55.5%	+2.0%	-

- 新生産拠点の減価償却が進んだこと等、総資産は1,679百万円減少
- 有利子負債の返済を着実に進め、自己資本比率は55.5%に上昇

キャッシュフローの概要（連結）



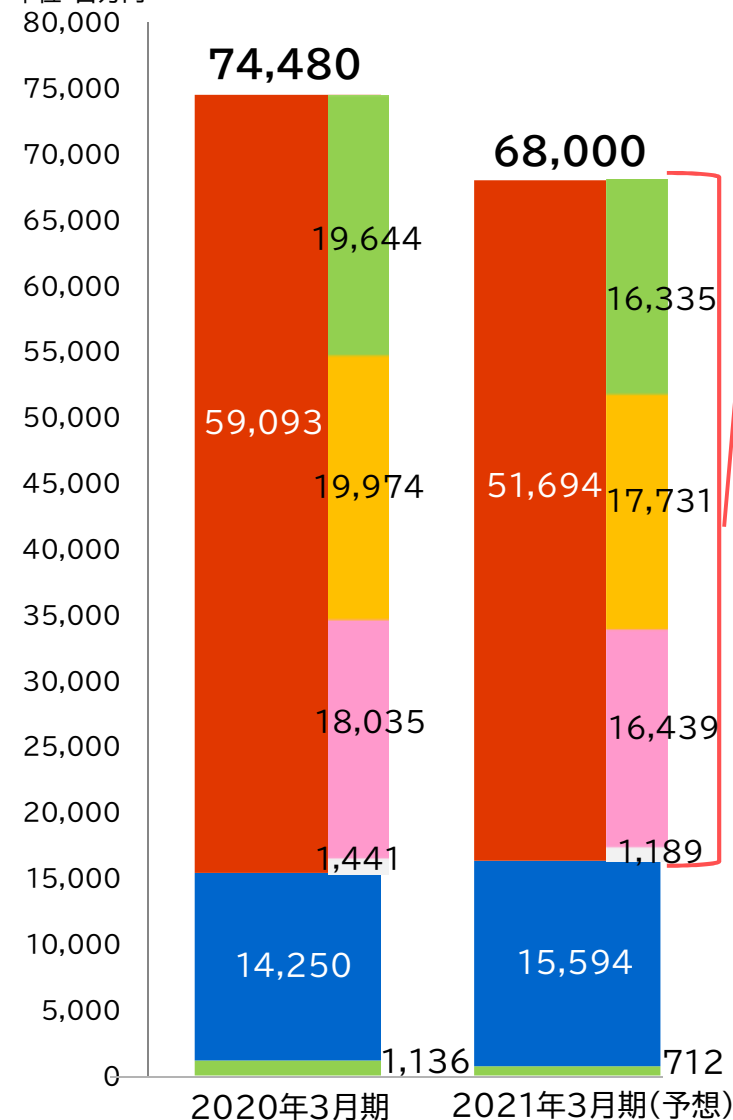
- 売上、利益の減少に対して、棚卸資産の圧縮や設備投資計画の見直し等資金効率の改善に努めた
⇒ 結果、現預金残高は前年度末並みの水準を確保

2021年3月期 見通しについて



事業別売上高概況予想(連結)

単位:百万円



■調味料・加工食品事業 ■総菜関連事業等 □その他
 (■サラダ・総菜類 ■タマゴ加工品 ■マヨネーズ・ドレッシング類)

©2020 KENKO Mayonnaise Co., Ltd.

調味料・加工食品事業

●売上高:△12.5%

<2021年3月期予想>

サラダ・総菜類

△16.8%

タマゴ加工品

△11.2%

マヨネーズ・ドレッシング類

△8.9%

- 食スタイルの変化に対応した商品開発、メニュー提案
- 量販店やドラッグストアなど新たな販路への販売拡大
- ドレッシング、ソース類を中心に小型形態化へ取り組み、飲食店等への提案強化

総菜関連事業等

●売上高: +9.4%

<フレッシュ総菜(日配サラダ、総菜)、グループ内生産受託>

- 新たな食スタイルの変化に対応した惣菜商品の提案(家族でシェア、家飲み、健康志向等)

その他

●売上高:△37.3%

<シヨップ事業(Salad Cafe)および海外事業※>

- 経営基盤の強化
- 美と健康をテーマにした商品づくり

2021年3月期 業績(連結)

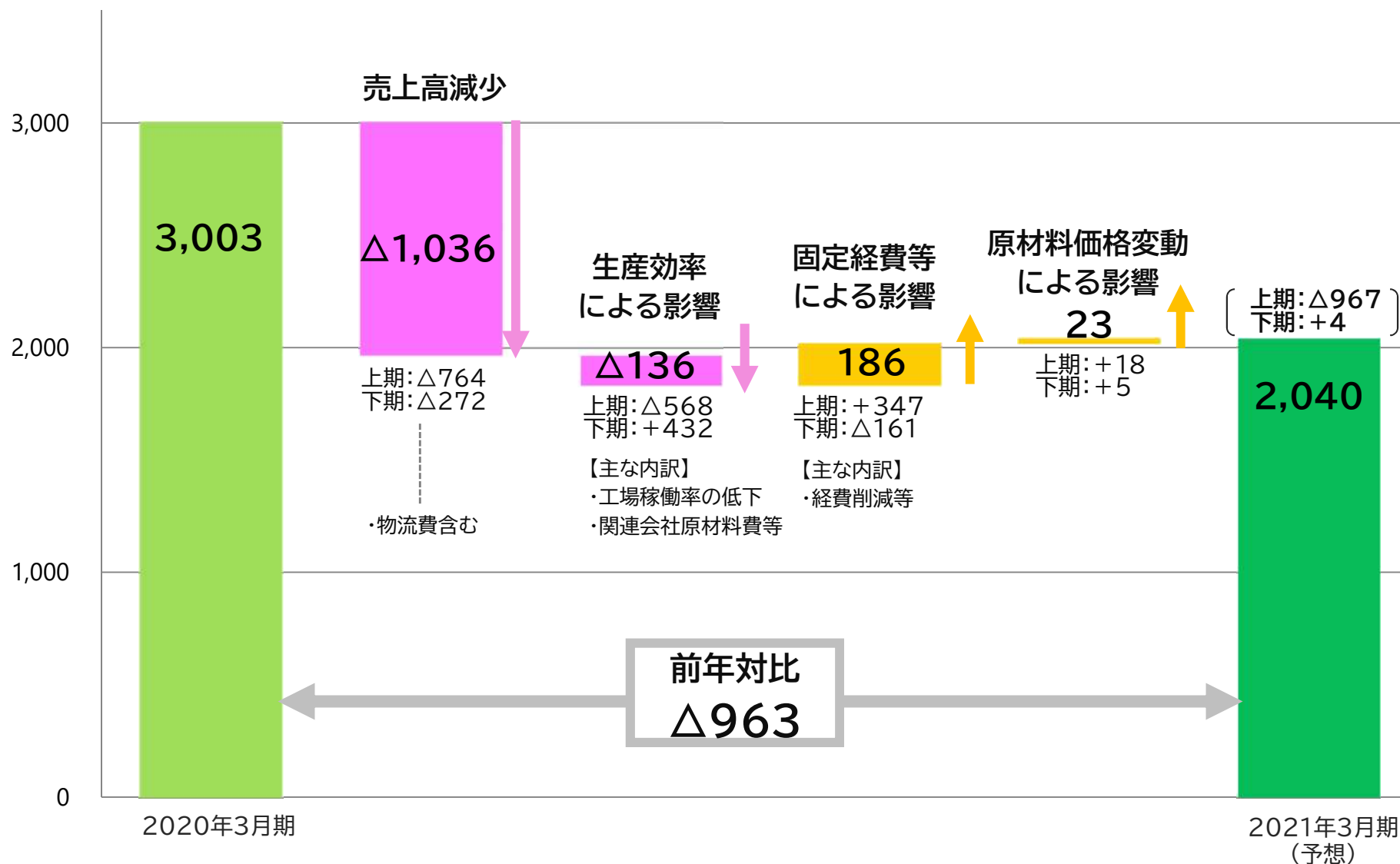


連結損益計算書概要 単位:百万円	2020年3月期	2021年3月期(予想)	
	金額	金額	前期比
売上高	74,480	68,000	△8.7%
売上総利益	17,844	-	-
(売上高総利益率)%	24.0%		
販売費及び一般管理費	14,944	-	-
営業利益	2,900	2,100	△27.6%
(売上高営業利益率)%	3.9%	3.1%	
経常利益	3,003	2,040	△32.1%
(売上高経常利益率)%	4.0%	3.0%	
税金等調整前当期純利益	3,104	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,058	1,320	△35.9%
(売上高当期純利益率)%	2.8%	1.9%	
1株当たり当期純利益	124円94銭	80円12銭	△44円82銭

2021年3月期 経常利益増減予想 (連結)



単位:百万円



配当・株主還元



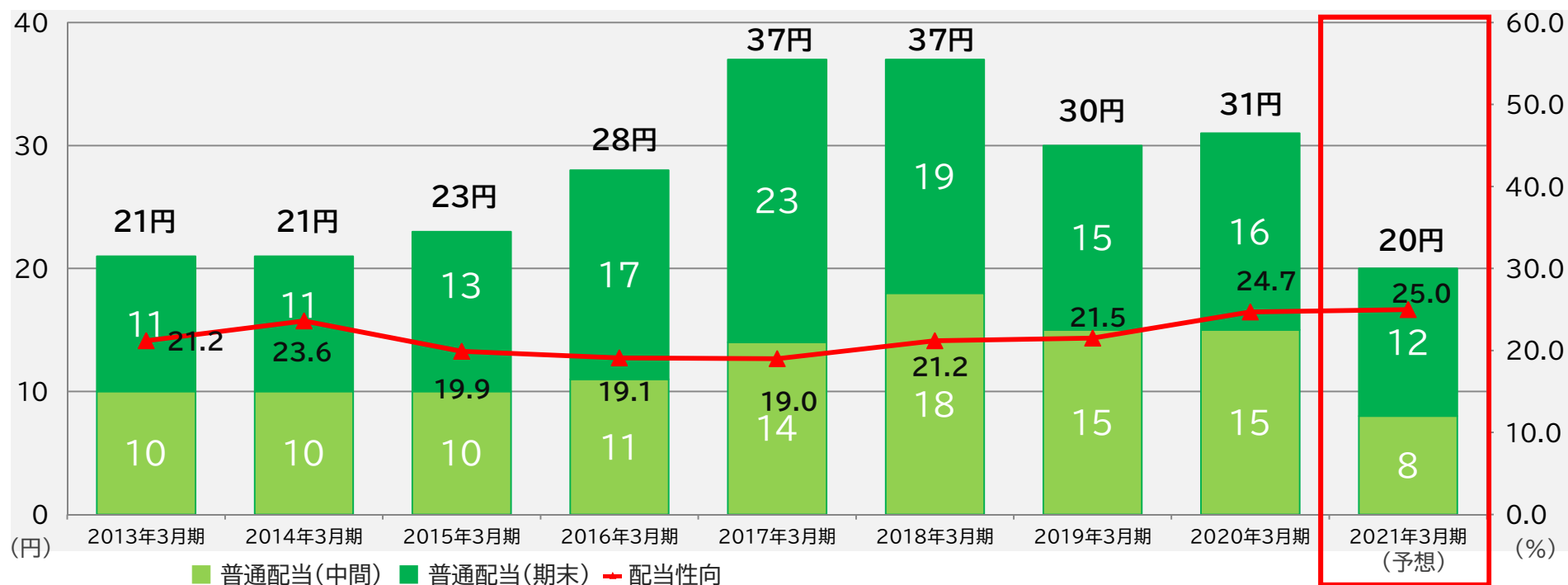
基本方針

- ・安定的な配当を維持、継続
- ・配当性向は20%を目標
- ・業績に応じて配当水準を高める

2021年3月期
配当予想

中間配当金:8円

期末配当金:12円(予定)



新型コロナウイルス感染症への当社の取り組み

■感染防止対策

●基本の徹底

- ・検温の実施(従業員、来客訪問者含む)
- ・感染症対策の徹底:うがい、手洗いの励行、消毒の励行、マスク着用、換気の徹底等
- ・不要不急の外出の取りやめ、ソーシャルディスタンスを確保した社内レイアウトの変更

●在宅勤務の実施、ITを含めた環境整備

- ・業務内容に応じて最大限の在宅勤務の実施
- ・やむを得ず公共交通機関を利用して出勤する場合は、時差出勤の実施

●国内外出張、研修等の自粛

- ・国内外への出張の原則禁止
- ・社内外のやりとりについては、可能な限り電話、メール、Web会議等を活用して実施



<東京本社の様子>

■商品供給体制

生産工場や受注センター、お客様相談室は、従業員、お客様、関係先様等の皆様の安全・安心に引き続き最大限の配慮をし、感染予防策を徹底した上で業務を継続。

お問い合わせ



- IRお問い合わせ

- 東京本社 : 東京都杉並区高井戸東3-8-13
- 担当者 : 経営企画本部 広報室 広報課
- 電話 : 03-5941-7682
- E-mail : ir@kenkomayo.co.jp

- 将来見通しに関する注意事項

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述は、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身の判断と責任においてご利用されることを前提に提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。